



## show コマンド

---

この章では、Cisco NX-OS ファイバ チャンネル、仮想ファイバ チャンネル、および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) の **show** コマンドについて説明します。

# show cfs

Cisco Fabric Services (CFS) 情報を表示するには、**show cfs** コマンドを使用します。

```
show cfs {application [name app-name] | lock [name app-name [vsan vsan-id]] | merge status
[name app-name [vsan vsan-id]] | peers [name app-name [vsan vsan-id]] | regions | status}
```

## 構文の説明

<b>application</b>	ローカルに登録されたアプリケーションを表示します。
<b>name app-name</b>	(任意) ローカルアプリケーション情報を名前指定します。名前は、最大 64 文字まで指定できます。
<b>lock</b>	アプリケーションの論理ロックまたは物理ロックの状態を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>merge status</b>	CFS 結合情報を表示します。
<b>peers</b>	論理または物理 CFS ピアを表示します。
<b>regions</b>	CFS 領域を表示します。
<b>status</b>	CFS 配信がイネーブルかディセーブルかを表示します。イネーブルがデフォルト設定です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show cfs application** コマンドは、CFS で登録されたアプリケーションだけを表示します。CFS を使用する条件付きサービスは、そのサービスが実行されていない限り出力には表示されません。

## 例

次に、すべてのアプリケーションについて CFS の物理ピア情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs peers
```

次に、スイッチ上のすべてのアプリケーションに対する CFS の情報を表示する例を示します。

```
switch# show cfs application
```

次に、CFS 配信のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show cfs status
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>cfs</b>	Cisco Fabric Service (CFS) 情報を設定します。

# show debug npv

スイッチに設定されている N ポート バーチャライゼーション (NPV) デバッグ コマンドを表示するには、**show debug npv** コマンドを使用します。

**show debug npv**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show debug npv** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

## 例

次に、スイッチで使用できるすべての NPV デバッグ コマンドを表示する例を示します。

```
switch# show debug npv
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>debug npv</b>	NPV コンフィギュレーションのデバッグをイネーブルにします。

# show device-alias

デバイス名情報を表示するには、**show device-alias** コマンドを使用します。

```
show device-alias {database | merge status | name device-name [pending] | pending |
pending-diff | pwwn pwwn-id [pending] | session status | statistics | status}
```

## 構文の説明

<b>database</b>	デバイス名データベース全体を表示します。
<b>merge status</b>	デバイス結合ステータスを表示します。
<b>name device-name</b>	特定のデバイス名のデバイス名データベース情報を表示します。
<b>pending</b>	(任意) 保留中のデバイス名データベース情報を表示します。
<b>pending-diff</b>	デバイス名データベース情報の未決定の差異を表示します。
<b>pwwn pwwn-id</b>	特定の pWWN のデバイス名データベース情報を表示します。フォーマットは、hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh で、h は 16 進数です。
<b>session status</b>	デバイス名セッションステータスを表示します。
<b>statistics</b>	デバイス名データベースの統計情報を表示します。
<b>status</b>	デバイス名データベースのステータスを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

わかりにくいデバイス名を使用する代わりに、デバイス名の FC エイリアス（ファイバチャネルエイリアス）を使用するには、FC エイリアスごとにメンバを 1 つだけ追加します。

## 例

次に、デバイスエイリアスデータベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show device-alias database
```

次に、グローバルな FC エイリアスと Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) 従属 FC エイリアスをすべて表示する例を示します。

```
switch# show device-alias name efg
```

次にグローバルな FC エイリアスと VSAN 従属 FC エイリアスをすべて表示する例を示します。

```
switch# show device-alias statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>device-alias name</b>	デバイスエイリアス名を設定します。

コマンド	説明
<b>device-alias database</b>	デバイス エイリアス情報を設定します。
<b>device-alias distribute</b>	デバイス エイリアス Cisco Fabric Services (CFS) 配信をイネーブリングにします。

# show fabric-binding

設定されているファブリック バインディング情報を表示するには、**show fabric-binding** コマンドを使用します。

```
show fabric-binding {database [active] [vsan vsan-id] | efmd statistics [vsan vsan-id] | statistics
[vsan vsan-id] | status [vsan vsan-id] | violations [last number]}
```

## 構文の説明

<b>database</b>	設定されたデータベース情報を表示します。
<b>active</b>	(任意) アクティブ データベース コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) FICON に対応した Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>efmd statistics</b>	Exchange Fabric Membership Data (EFMD) 統計情報を表示します。
<b>statistics</b>	ファブリック バインディング統計情報を表示します。
<b>status</b>	ファブリック バインディング ステータスを表示します。
<b>violations</b>	ファブリック バインディング コンフィギュレーションにおける違反を表示します。
<b>last number</b>	(任意) 最新の違反を指定します。範囲は 1 ~ 100 です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、設定されているファブリック バインディング データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database
```

次に、アクティブ ファブリック バインディングの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active
```

次に、VSAN 固有のファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database active vsan 61
```

次に、VSAN 固有の設定済みファブリック バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding database vsan 4
```

次に、ファブリック バインディングの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding statistics
```

次に、各 VSAN に対するファブリック バインディングのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding status
```

次に、EFMD の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics
```

次に、指定された VSAN に対する EFMD の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding efmd statistics vsan 4
```

次に、ファブリック バインディングの違反を表示する例を示します。

```
switch# show fabric-binding violations
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>fabric-binding</b>	VSAN にファブリック バインディングを設定します。

# show fc2

FC2 情報を表示するには、**show fc2** コマンドを使用します。

```
show fc2 {bind | classf | exchange | exchresp | flogi | nport | plogi | plogi_pwwn | port [brief] |
socket | sockexch | socknotify | socknport | vsan}
```

## 構文の説明

<b>bind</b>	FC2 ソケット バインディングを表示します。
<b>classf</b>	FC2 classf セッションを表示します。
<b>exchange</b>	FC2 アクティブ交換を表示します。
<b>exchresp</b>	FC2 アクティブ応答交換を表示します。
<b>flogi</b>	FC2 Fabric Login (FLOGI) テーブルを表示します。
<b>nport</b>	FC2 ローカル N ポートを表示します。
<b>plogi</b>	FC2 Port Login (PLOGI) セッションを表示します。
<b>plogi_pwwn</b>	FC2 PLOGI pWWN エントリを表示します。
<b>port</b>	FC2 物理ポート テーブルを表示します。
<b>brief</b>	(任意) FC2 物理ポート テーブルを要約形式で表示します。
<b>socket</b>	FC2 アクティブ ソケットを表示します。
<b>sockexch</b>	各ソケットの FC2 アクティブ交換を表示します。
<b>socknotify</b>	各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI/LOGO 通知を表示します。
<b>socknport</b>	ソケットごとの FC2 ローカル N ポートを表示します。
<b>vsan</b>	FC2 VSAN テーブルを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、FC2 アクティブ ソケット情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socket
```

次に、FC2 ソケット バインディング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 bind
```

次に、FC2 ローカル N ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 nport
```

次に、FC2 PLOGI セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 plogi
```



次に、FC2 物理ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 port
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポート PLOGI 通知を表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknotify
```

次に、各ソケットの FC2 ローカル N ポートを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 socknport
```

次に、FC2 VSAN テーブルを表示する例を示します。

```
switch# show fc2 vsan
```

# show fc-port-security

設定されているポートセキュリティ機能に関する情報を表示するには、**show fc-port-security** コマンドを使用します。

```
show fc-port-security {database [active [vsan vsan-id]] | fwwn fwwn-id vsan vsan-id | interface
{fc slot/port | san-port-channel port} vsan vsan-id | vsan vsan-id | pending [vsan vsan-id] |
pending-diff [vsan vsan-id] | session status [vsan vsan-id] | statistics [vsan vsan-id] | status
[vsan vsan-id] | violations [last count | vsan vsan-id]}
```

## 構文の説明

<b>database</b>	データベース関連のポートセキュリティ情報を表示します。
<b>active</b>	(任意) アクティブ化されたデータベース設定情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定データベースの情報を表示します。
<b>fwwn fwwn-id</b>	特定ファブリック World Wide Name (WWN) の情報を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスの情報を表示します。
<b>fc slot/port</b>	指定したファイバチャネルインターフェイスの情報を表示します。
<b>san-port-channel port</b>	SAN ポートチャネルインターフェイスの情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 128 です。
<b>pending</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	サーバアドレス未決定コンフィギュレーションとアクティブコンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>session status</b>	VSAN 単位でポートセキュリティステータスを表示します。
<b>statistics</b>	ポートセキュリティ統計を表示します。
<b>status</b>	VSAN 単位でポートセキュリティステータスを表示します。
<b>violations</b>	ポートセキュリティデータベースでの違反を表示します。
<b>last count</b>	(任意) データベースの末尾の指定行数を表示します。範囲は 1 ~ 100 です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

各ポートのアクセス情報は個別に表示されます。ファブリック WWN (fWWN) またはインターフェイス オプションを指定する場合、(その時点の) アクティブデータベースでペアとなっているすべてのデバイスが、指定した fWWN またはインターフェイスとともに表示されます。

**last number** オプションを指定して **show fc-port-security** コマンドを入力すると、最初に現れる指定数分のエントリだけが表示されます。

**例**

次に、ポートセキュリティ データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database
```

次に、VSAN 1 のアクティブ ポートセキュリティ データベースの出力を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database vsan 1
```

次に、アクティブ データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database active
```

次に、VSAN 1 内のワイルドカード fWWN ポートセキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database fwwn 20:85:00:44:22:00:4a:9e vsan 1
```

次に、VSAN 1 内の設定済み fWWN ポートセキュリティを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database fwwn 20:01:00:05:30:00:95:de vsan 1
```

次に、VSAN 2 内のインターフェイス ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security database interface fc 2/1 vsan 2
```

次に、ポートセキュリティ統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security statistics
```

次に、アクティブ データベースと自動学習コンフィギュレーションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security status
```

次に、直近 100 件の違反を表示する例を示します。

```
switch# show fc-port-security violations
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>fc-port-security</b>	ポートセキュリティ パラメータを設定します。

# show fcalias

ファイバ チャネル エイリアス (fcalias) のメンバー名情報を表示するには、**show fcalias** コマンドを使用します。

```
show fcalias [name fcalias-name] [pending] [vsan vsan-id]
```

## 構文の説明

<b>name</b> <i>fcalias-name</i>	(任意) 特定の名前の fcalias 情報を表示します。最大 64 文字まで可能です。
<b>pending</b>	(任意) 未決定の fcalias 情報を表示します。
<b>vsan</b> <i>vsan-id</i>	(任意) VSAN の fcalias 情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。

## コマンドデフォルト

すべてのグローバル fcalias のリスト、およびすべての VSAN 従属 fcalias のリストを表示します。

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

デバイス名として、暗号デバイス名の代わりに FC エイリアスを使用するには、各 FC エイリアスにメンバーを 1 つだけ追加します。

## 例

次に、FC エイリアス コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcalias vsan 1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcalias name</b>	FC エイリアス名を設定します。

# show fcdomain

ファイバチャネル ドメイン (fcdomain) 情報を表示するには、**show fcdomain** コマンドを使用します。

```
show fcdomain [address-allocation [cache] | allowed | domain-list | fcid persistent [unused] |
pending [vsan vsan-id] | pending-diff [vsan vsan-id] | session-status [vsan vsan-id] | statistics
[interface {fc slot/port [vsan vsan-id] } | san-port-channel port [vsan vsan-id]] | status | vsan
vsan-id]
```

## 構文の説明

<b>address-allocation</b>	(任意) Fibre Channel (FC) ID 割り当ての統計情報を表示します。
<b>cache</b>	(任意) 主要スイッチのファブリックを出て再入するデバイス (ディスクまたはホスト) に対して、FC ID を再割り当てします。キャッシュ内で、Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) は当該のデバイスを含む VSAN を表し、WWN は FC ID を所有していたデバイスを表します。マスクは FC ID に対応する 1 つのエリアまたはエリア全体を表します。
<b>allowed</b>	(任意) 許可されたドメイン ID のリストが表示されます。
<b>domain-list</b>	(任意) 主要なスイッチが提供するドメイン ID のリストを表示します。
<b>fcid persistent</b>	(任意) 固定 FC ID (再起動後も変わらない ID) を表示します。
<b>unused</b>	(任意) 未使用の永続的 FCID (リブート後も保持される) を表示します。
<b>pending</b>	(任意) 未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>pending-diff</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>session-status</b>	(任意) FC ドメインの最後の動作を表示します。
<b>statistics</b>	(任意) FC ドメインの統計情報を表示します。
<b>interface</b>	(任意) インターフェイスを指定します。
<b>fc slot/port</b>	(任意) ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<b>san-port-channel port</b>	(任意) SAN ポート チャネル インターフェイスを指定します。指定できる範囲は 1 ~ 128 です。
<b>status</b>	(任意) FC ドメインのすべての VSAN 独立型情報を表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

引数を指定せずに **show fcdomain** を入力すると、すべての VSAN が表示されます。VSAN をアクティブにする必要があります。アクティブでないとエラーになります。

## 例

次に、VSAN 1 の FC ドメイン情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain vsan 1
```

次に、VSAN 76 の fcdomain ドメイン リスト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain domain-list vsan 76
```

```
Number of domains: 3
Domain ID           WWN
-----
0xc8 (200)         20:01:00:05:30:00:47:df [Principal]
0x63 (99)          20:01:00:0d:ec:08:60:c1 [Local]
0x61 (97)          50:00:53:0f:ff:f0:10:06 [Virtual (IVR)]
```

表 1 に、**show fcdomain domain-list** コマンドの出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 1 show fcdomain のフィールドの説明

フィールド	説明
Domain ID	WWN に対応するドメイン ID の一覧です。
WWN	対応するドメイン ID を要求するスイッチ（物理スイッチまたは仮想スイッチ）の WWN を示します。
Principal	VSAN で主要なスイッチの WWN およびドメイン ID を表示する行を示します。
Local	ローカル スイッチ（ <b>show fcdomain domain-list</b> コマンドを入力したスイッチ）の WWN およびドメイン ID を表示する行を示します。
Virtual (IVR)	ドメイン ID を入手するために Inter-VSAN Routing (IVR) マネージャに使用されている仮想スイッチの WWN が表示されている行を示します

次に、許可されたドメイン ID リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain allowed vsan 1
```

次に、許可されたドメイン ID リストの CFS 配信のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain status
```

次に、保留中の設定に関する変更を表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending vsan 10
```

次に、保留中の設定と現在の設定における違いを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain pending-diff vsan 10
```

次に、配信セッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcdomain session-status vsan 1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcdomain</b>	ファイバチャネル ドメイン機能を設定します。

# show fcdroplateny

設定されているファイバ チャネル遅延パラメータを表示するには、**show fcdroplateny** コマンドを使用します。

**show fcdroplateny** [**network** | **switch**]

## 構文の説明

<b>network</b>	(任意) ネットワーク遅延をミリ秒単位で表示します。
<b>switch</b>	(任意) スイッチ遅延をミリ秒単位で表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、設定されているファイバ チャネル遅延パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show fcdroplateny
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcdroplateny</b>	ネットワークとスイッチのファイバ チャネル廃棄遅延時間を設定します。

# show fcflow stats

設定されているファイバチャネルフロー（fcflow）情報を表示するには、**show fcflow stats** コマンドを使用します。

```
show fcflow stats [aggregated | usage] [index flow-index]
```

## 構文の説明

<b>aggregated</b>	(任意) 集約 fcflow 統計情報を表示します。
<b>usage</b>	(任意) フロー インデックスの使用状況を表示します。
<b>index flow-index</b>	(任意) fcflow インデックスを指定します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、集約 fcflow の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats aggregated
```

次に、fcflow の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats
```

次に、fcflow インデックスの使用状況を表示する例を示します。

```
switch# show fcflow stats usage
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcflow stats</b>	fcflow 統計情報を設定します。



# show fcid-allocation

会社 ID のファイバ チャネル地域リストを表示するには、**show fcid allocation** コマンドを使用します。

**show fcid-allocation area | company-id-from-wwn *wwn* [*company-id*]**

## 構文の説明

<b>area</b>	会社 ID の自動地域リストを表示します。
<b>company-id-from-wwn</b> <i>wwn</i>	指定された World Wide Name (WWN) から会社 ID を選択します。
<b>company-id</b>	(任意) 表示する会社 ID (組織ユニット ID、または OUI ともいいます) です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、会社 ID のファイバ チャネル地域会社リストを表示する例を示します。

```
switch# show fcid-allocation area
Fcid area allocation company id info:
```

```
00:50:2E
00:50:8B
00:60:B0
00:A0:B8
00:E0:69
00:E0:8B
00:32:23 +
```

```
Total company ids: 7
+ - Additional user configured company ids.
* - Explicitly deleted company ids from default list.
```

表 2 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 2 show fcid-allocation area company のフィールドの説明

フィールド	説明
+	デフォルトのリストに追加された会社 ID を示します。
-	デフォルトのリストから削除された会社 ID を示します。

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcid-allocation</b>	デフォルトの地域会社 ID リストに FCID を追加します。

# show fcns database

検出結果の表示、または指定の Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) あるいはすべての VSAN に対するネーム サーバ データベースの表示を行うには、**show fcns database** コマンドを使用します。

```
show fcns database {detail [vsan vsan-id] | domain domain-id [detail] [vsan vsan-range] | fcid
fcid-id [detail] vsan vsan-range | local [detail] [vsan vsan-range] | vsan vsan-id}
```

## 構文の説明

<b>detail</b>	各エントリ内の全オブジェクトを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定 VSAN ID のエントリを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>domain domain-id</b>	ドメインのエントリを表示します。
<b>detail</b>	(任意) ドメインの詳細なエントリを表示します。
<b>fcid fcid-id</b>	指定したポートのエントリを表示します。
<b>local</b>	ローカル エントリを表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

特にファブリックが大規模な場合や複数のデバイスの応答が遅い場合に、検出が完了するのに数分かかる場合があります。

仮想エンクロージャ ポートは、**show fcns database** コマンドを使用して表示できます。

## 例

次に、FCNS データベースの内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
```

次に、FCNS データベースの詳細内容を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database detail
```

次に、管理 VSAN (VSAN 2) を表示する例を示します。

```
switch# show fcns database vsan 2
```

次に、設定されているすべての VSAN のデータベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcns database
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>fcns</code>	ネーム サーバ コンフィギュレーションに使用するコンフィギュレーションモード コマンドを指定します。

# show fcns statistics

指定した Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) またはすべての VSAN の統計情報を表示するには、**show fcns statistics** コマンドを使用します。

```
show fcns statistics [detail] [vsan vsan-id]
```

構文の説明	detail	(任意) 詳細統計情報を表示します。
	<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定の VSAN ID の統計情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、指定された VSAN の統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcns statistics
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>fcns</b>	ネーム サーバ コンフィギュレーションに使用するコンフィギュレーションモードコマンドを指定します。

# show fcoe

スイッチ上の Fibre Channel over Ethernet (FCoE) パラメータのステータスを表示するには、**show fcoe** コマンドを表示します。

**show fcoe**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、FCoE ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fcoe
Global FCF details
      FCF-MAC is 00:0d:ec:a3:9d:80
      FCF-MAP is 0e:fc:00
      FCF Priority is 128
      FKA Advertisement period for FCF is 8 seconds
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcoe fcf-priority</b>	FCoE Initialization Protocol (FIP) のプライオリティ値を設定します。
<b>fcoe fcmmap</b>	FCoE ノード (ENode) の関連付けに使用する FCoE MAC Address Prefix (FC MAP) を設定します。
<b>fcoe fka-adv-period</b>	FIP キープアライブ (FKA) メッセージが ENode の MAC アドレスに送信される時間間隔を設定します。
<b>show fcoe database</b>	FCoE データベース情報を表示します。

# show fcoe-npv issu-impact

中断なしのインサービス ソフトウェア アップグレード (ISSU) 中に Fibre Channel over Ethernet (FCoE) N ポート バーチャライザ (NPV) によって発生した設定の問題を表示するには、**show fcoe-npv issu-impact** コマンドを使用します。

## show fcoe-npv issu-impact

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature fcoe-npv** コマンドを使用して、スイッチ上で Fibre Channel over Ethernet (FCoE) N ポート バーチャライザ (NPV) がイネーブルであることを確認します。このコマンドには、FCoE NPV ライセンスが必要です。

### 例

次に、FCoE NPV 機能による設定の問題を表示する例を示します。

```
switch# show fcoe-npv issu-impact
show fcoe-npv issu-impact
-----

Please make sure to enable "disable-fka" on all logged in VFCs
Please increase the FKA duration to 60 seconds on FCF

Active VNP ports with no disable-fka set
-----

ISSU downgrade not supported as feature fcoe-npv is enabled
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature fcoe-npv</b>	スイッチの FCoE NPV をイネーブルにします。
<b>show running-config fcoe_mgr</b>	FCoE 実行コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>show tech-support fcoe</b>	FCoE のトラブルシューティング情報を表示します。

# show fcoe database

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) データベースに関する情報を表示するには、**show fcoe database** コマンドを使用します。

## show fcoe database

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、FCoE データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcoe database
```

```
-----
```

INTERFACE	FCID	PORT NAME	MAC ADDRESS
vfc1	0x580016	10:00:00:00:07:f8:0e:45	00:00:00:13:05:01
vfc1	0x580017	10:00:00:00:07:f8:21:bf	00:00:00:13:05:01
vfc2	0x580020	10:00:00:00:07:f8:0e:46	00:00:00:13:05:02
vfc2	0x580033	10:00:00:00:07:f8:21:c0	00:00:00:13:05:02
vfc4	0x58001e	10:00:00:00:07:f8:0e:48	00:00:00:13:05:04
vfc4	0x580031	10:00:00:00:07:f8:21:c2	00:00:00:13:05:04
vfc5	0x58001d	10:00:00:00:07:f8:0e:49	00:00:00:13:05:05
vfc5	0x580030	10:00:00:00:07:f8:21:c3	00:00:00:13:05:05
vfc6	0x58001c	10:00:00:00:07:f8:0e:4a	00:00:00:13:05:06
vfc6	0x58002f	10:00:00:00:07:f8:21:c4	00:00:00:13:05:06
vfc7	0x58001b	10:00:00:00:07:f8:0e:4b	00:00:00:13:05:07
vfc7	0x58002e	10:00:00:00:07:f8:21:c5	00:00:00:13:05:07
vfc8	0x58001a	10:00:00:00:07:f8:0e:4c	00:00:00:13:05:08
vfc8	0x58002d	10:00:00:00:07:f8:21:c6	00:00:00:13:05:08
vfc9	0x580019	10:00:00:00:07:f8:0e:4d	00:00:00:13:05:09
vfc9	0x58002c	10:00:00:00:07:f8:21:c7	00:00:00:13:05:09
vfc10	0x580018	10:00:00:00:07:f8:0e:4e	00:00:00:13:05:0a
vfc10	0x58002a	10:00:00:00:07:f8:21:c8	00:00:00:13:05:0a
vfc11	0x580023	10:00:00:00:07:f8:0e:4f	00:00:00:13:05:0b
vfc11	0x580036	10:00:00:00:07:f8:21:c9	00:00:00:13:05:0b
vfc12	0x580022	10:00:00:00:07:f8:0e:50	00:00:00:13:05:0c
vfc12	0x580035	10:00:00:00:07:f8:21:ca	00:00:00:13:05:0c
vfc13	0x580021	10:00:00:00:07:f8:0e:51	00:00:00:13:05:0d
vfc13	0x580034	10:00:00:00:07:f8:21:cb	00:00:00:13:05:0d
vfc14	0x58002b	10:00:00:00:07:f8:0e:52	00:00:00:13:05:0e
vfc14	0x58003d	10:00:00:00:07:f8:21:cc	00:00:00:13:05:0e
vfc15	0x580029	10:00:00:00:07:f8:0e:53	00:00:00:13:05:0f
vfc15	0x58003c	10:00:00:00:07:f8:21:cd	00:00:00:13:05:0f
vfc16	0x580028	10:00:00:00:07:f8:0e:54	00:00:00:13:05:10
vfc16	0x58003b	10:00:00:00:07:f8:21:ce	00:00:00:13:05:10

```
-----
```

## ■ show fcoe database

```

vfc17          0x580027          10:00:00:00:07:f8:0e:55 00:00:00:13:05:11
vfc17          0x580039          10:00:00:00:07:f8:21:cf 00:00:00:13:05:11
vfc18          0x580026          10:00:00:00:07:f8:0e:56 00:00:00:13:05:12
vfc18          0x58003a          10:00:00:00:07:f8:21:d0 00:00:00:13:05:12
vfc19          0x580025          10:00:00:00:07:f8:0e:57 00:00:00:13:05:13
vfc19          0x580038          10:00:00:00:07:f8:21:d1 00:00:00:13:05:13
vfc20          0x580024          10:00:00:00:07:f8:0e:58 00:00:00:13:05:14
switch#

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcoe fcf-priority</b>	FCoE Initialization Protocol (FIP) のプライオリティ値を設定します。
<b>fcoe fcmmap</b>	FCoE ノード (ENode) の関連付けに使用する FCoE MAC Address Prefix (FC MAP) を設定します。
<b>fcoe fka-adv-period</b>	FIP キープアライブ (FKA) メッセージが ENode の MAC アドレスに送信される時間間隔を設定します。
<b>show fcoe</b>	FCoE CFS パラメータのステータスを表示します。



# show fcroute

ファイバチャネルおよび Fabric Shortest Path First (FSPF) の既存の設定に関する特定の情報を表示するには、**show fcroute** コマンドを使用します。

```
show fcroute {distance | label [label] vsan vsan-id | multicast [fc-id vsan vsan-id | vsan vsan-id] |
summary [vsan vsan-id] | unicast [[host] fc-id fc-mask vsan vsan-id | vsan vsan-id]}
```

## 構文の説明

<b>distance</b>	FC ルートの優先順位を表示します。
<b>label</b>	ラベル ルートを表示します。
<i>label</i>	(任意) 指定されたラベルのルートを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します (1 ~ 4093)。
<b>multicast</b>	FC マルチキャスト ルートを表示します。
<i>fc-id</i>	(任意) ファイバチャネル ID を指定します。
<b>summary</b>	FC ルート概要を表示します。
<b>unicast</b>	FC ユニキャスト ルートを表示します。
<i>host</i>	指定されたホストのユニキャスト ルートを表示します。
<i>fc-mask</i>	マスクで指定された FCID の範囲に一致するホストのユニキャスト ルートを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

コマンド出力でルート数が表示される際、合計ルート数には表示ルートと非表示ルートの両方が含まれています。

## 例

次に、アドミニストレーティブ ディスタンスを表示する例を示します。

```
switch# show fcroute distance
```

次に、マルチキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast
```

次に、指定された VSAN の FCID 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast vsan 3
```

次に、指定された VSAN の FCID とインターフェイスの情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute multicast 0xfffffff vsan 2
```

次に、ユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast
```

次に、指定された VSAN のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast vsan 4
```

次に、指定された FCID のユニキャスト ルーティング情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute unicast 0x040101 0xffffffff vsan 4
```

次に、ルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary
```

次に、指定された VSAN のルート データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcroute summary vsan 4
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcroute</b>	ファイバ チャネル ルートを設定し、ポリシー ルーティングをアクティブにします。

# show fcs

ファブリック設定のステータスを表示するには、**show fcs** コマンドを使用します。

```
show fcs {database [vsan vsan-id] | ie [nwwn wwn | vsan vsan-id] | platform {name string | vsan vsan-id} | port {pwwn wwn | vsan vsan-id} | statistics vsan vsan-id | vsan}
```

## 構文の説明

<b>database</b>	Frame Check Sequence (FCS; フレーム チェック シーケンス) のローカル データベースを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>ie</b>	相互接続要素オブジェクト情報を表示します。
<b>nwwn wwn</b>	(任意) ノード WWN ID を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
<b>platform</b>	プラットフォーム オブジェクト情報を表示します。
<b>name string</b>	(任意) プラットフォーム名を指定します。名前は、最大 255 文字まで指定できます。
<b>port</b>	ポート オブジェクト情報を表示します。
<b>pwwn wwn</b>	ポート WWN ID を指定します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> です。
<b>statistics</b>	FCS パケットの統計情報を表示します。
<b>vsan</b>	すべての VSAN のリストを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、FCS データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs database
```

次に、特定の VSAN の相互接続要素オブジェクト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie vsan 1
```

次に、特定の WWN の相互接続要素オブジェクト情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs ie nwwn 20:01:00:05:30:00:16:df vsan 1
```

次に、プラットフォーム情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs platform name SamplePlatform vsan 1
```

次に、指定された VSAN 内のプラットフォーム情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs platform vsan 1
```

次に、指定された VSAN 内の FCS ポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs port vsan 24
```

次に、指定された WWN 内のポートを表示する例を示します。

```
switch# show fcs port pwn 20:51:00:05:30:00:16:de vsan 24
```

次に、FCS 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcs statistics
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>fcs</code>	FCS プラットフォーム属性を設定します。

# show fcsp

Fibre Channel Security Protocol (FC-SP; ファイバ チャネル セキュリティ プロトコル) コンフィギュレーションのステータスを表示するには、**show fcsp** コマンドを使用します。

```
show fcsp [asciiwnn ascii-wnn | dhchap [database] | interface {fc slot/port | vfc vfc-id} [statistics | wnn]]
```

## 構文の説明

<b>asciiwnn</b> <i>ascii-wnn</i>	(任意) 認証、許可、アカウントティング (AAA) サーバで使用する World Wide Name (WWN) の ASCII 表記を表示します。
<b>dhchap</b>	(任意) Diffie-Hellman Challenge Handshake Authentication Protocol (DHCHAP) ハッシュ アルゴリズムのステータスを表示します。
<b>database</b>	(任意) ローカル DHCHAP データベースの内容を表示します。
<b>interface</b>	(任意) ファイバ チャネルまたはファイバ チャネル インターフェイスの FC-SP 設定を表示します。
<b>fc slot/port</b>	ファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<b>vfc vfc-id</b>	(任意) バーチャル ファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<b>statistics</b>	(任意) 指定インターフェイスの統計情報を表示します。
<b>wnn</b>	(任意) 他のデバイスの FC-SP ID を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、FC インターフェイスの DHCHAP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc2/3
```

次に、FC インターフェイスの DHCHAP 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc2/3 statistics
```

次に、指定されたインターフェイスで接続したデバイスの FC-SP WWN を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp interface fc 2/1 wnn
```

次に、ローカル スイッチに設定されているハッシュ アルゴリズムと DHCHAP のグループを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap
```

次に、DHCHAP ローカル パスワード データベースを表示する例を示します。

```
switch# show fcsp dhchap database
```

次に、デバイス WWN の ASCII 表記を表示する例を示します。

```
switch# show fcsp asciiwnn 30:11:bb:cc:dd:33:11:22
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>fcsp enable</b>	このスイッチの FC-SP 機能をイネーブルにします。

---

# show fctimer

ファイバチャネル タイマー (fctimer) を表示するには、**show fctimer** コマンドを使用します。

```
show fctimer [d_s_tov [vsan vsan-id] | e_d_tov [vsan vsan-id] | f_s_tov [vsan vsan-id] | r_a_tov
[vsan vsan-id] | last action status | pending | pending-diff | session status | status | vsan
vsan-id]
```

## 構文の説明

<b>d_s_tov</b>	(任意) 分散サービスのタイムアウト値 (D_S_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) の情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>e_d_tov</b>	(任意) エラー検出のタイムアウト値 (E_D_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>f_s_tov</b>	(任意) ファブリック安定性のタイムアウト値 (F_S_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>r_a_tov</b>	(任意) リソース割り当てのタイムアウト値 (R_A_TOV) をミリ秒単位で表示します。
<b>last action status</b>	(任意) 最後に実行した Cisco Fabric Service (CFS) 確定または廃棄操作のステータスを表示します。
<b>pending</b>	(任意) 未決定 fctimer コマンドのステータスを表示します。
<b>pending-diff</b>	(任意) 保留中のデータベースと実行中の設定の間における違いを表示します。
<b>session status</b>	(任意) fctimer CFS セッションの状態を表示します。
<b>status</b>	(任意) ファイバチャネル タイマーの状態を表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、設定されているグローバル タイムアウト値 (TOV) を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer
```

次に、指定の VSAN に設定された TOV を表示する例を示します。

```
switch# show fctimer vsan 10
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fctimer</b>	fctimer パラメータを設定します。

# show fdmi

Fabric-Device Management Interface (FDMI) データベースの情報を表示するには、**show fdmi** コマンドを使用します。

```
show fdmi database [detail [hba-id {hba-id vsan vsan-id} | vsan vsan-id] | vsan vsan-id] |
suppress-updates
```

構文の説明	パラメータ	説明
	<b>database</b>	FDMI データベース コンテンツを表示します。
	<b>detail</b>	(任意) 詳細な FDMI 情報を指定します。
	<b>hba-id hba-id</b>	(任意) 指定された Host Bus Adapter (HBA; ホストバスアダプタ) エントリの詳細情報を表示します。
	<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定された Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) の FDMI 情報を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
	<b>suppress-updates</b>	アップデートを停止するように設定されている VSAN を表示します。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

**例** 次に、すべての HBA 管理サーバを表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database
```

次に、VSAN1 固有の FDMI 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database detail vsan 1
```

次に、指定された HBA エントリの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show fdmi database detail Hba-id 21:01:00:e0:8b:2a:f6:54 vsan 1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>fdmi suppress-updates</b>	FDMI アップデートを抑制します。



# show fex

特定のファブリック エクステンダまたはすべての接続されたシャーシに関する情報を表示するには、**show fex** コマンドを使用します。

```
show fex [chassis_ID [detail]]
```

## 構文の説明

<i>chassis_ID</i>	(任意) ファブリック エクステンダ シャーシ ID。有効なシャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。
<b>detail</b>	(任意) 詳細なリストを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、接続されたすべてのファブリック エクステンダ シャーシに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show fex
FEX          FEX          FEX          FEX
Number      Description    State         Model         Serial
-----
100         FEX0100        Online       N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1237ABSE
101         FEX0101        Online       N2K-C2248TP-1GE   JAF11223333
102         FEX0102        Online       N5K-C5110T-BF-1GE  JAF1241BLHQ
105         FEX0105        Online       N2K-C2232P-10GE   JAF1331AKBM
switch#
```

次の例では、特定のファブリック エクステンダ シャーシに関する情報のサマリーを表示する方法を示します。

```
switch# show fex 101
FEX: 101 Description: FEX0101 state: Online
FEX version: 4.2(1)N1(1) [Switch version: 4.2(1)N1(1)]
Extender Model: N2K-C2248TP-1GE, Extender Serial: JAF11223333
Part No: 73-12748-01
pinning-mode: static Max-links: 1
Fabric port for control traffic: Eth3/5
Fabric interface state:
  Po5 - Interface Up. State: Active
  Eth3/5 - Interface Up. State: Active
  Eth3/6 - Interface Up. State: Active
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fex</b>	ファブリック エクステンダを作成し、ファブリック エクステンダ コンフィギュレーション モードを開始します。



# show flogi

すべての Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) を対象としたあらゆるインターフェイスによる全ファブリック ログイン (FLOGI) セッションを表示するには、**show flogi** コマンドを使用します。

```
show flogi {auto-area-list} | database {fcid fcid-id | interface {fc slot/port | vfc vfc-id} | vsan vsan-id}
```

構文の説明	パラメータ	説明
	<b>auto-area-list</b>	割り当て領域である Organizational Unit Identifier (OUI) のリストを表示します。
	<b>database</b>	FLOGI セッションに関する情報を表示します。
	<b>fcid fcid-id</b>	割り当てられた Fibre Channel (FC) ID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。フォーマットは <i>0xhhhhhh</i> です。
	<b>interface</b>	ログインしたインターフェイスに基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。
	<b>fc slot/port</b>	ファイバチャネル インターフェイスまたはバーチャル ファイバチャネル インターフェイスをスロットおよびポート番号で指定します。
	<b>vfc vfc-id</b>	バーチャル ファイバチャネル インターフェイスを指定します。
	<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID に基づいて FLOGI データベース エントリを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドの出力はインターフェイス番号別、および VSAN ID 別に保存されます。FC ファブリックでは、各ホストまたはディスクに FCID が必要です。以下の例にあるように、Fabric Login (FLOGI) テーブルにストレージ デバイスが表示されているかどうかを確認するには、**show flogi database** コマンドを使用します。必要なデバイスが FLOGI テーブルに表示されていれば、FLOGI が正常に行われます。ホスト Host Bus Adapter (HBA) および接続ポートに直接接続されているスイッチ上の FLOGI データベースを検査します。

**例** 次に、FLOGI データベースの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database
```

次に、FLOGI インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show flogi database interface fc 2/3
```

次に、FLOGI VSAN を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database vsan 1
```

次に、特定の FCID に対する FLOGI を表示する例を示します。

```
switch# show flogi database fcid 0xef02e2
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show fcns database</b>	すべてのローカルおよびリモートのネーム サーバ エントリを表示します。

# show fspf

グローバル Fibre Shortest Path First (FSPF) ルーティング情報を表示するには、**show fspf** コマンドを使用します。

```
show fspf [database [vsan vsan-id] [detail | domain domain-id detail] | interface | vsan vsan-id
interface {fc slot/port | san-port-channel port-channel}]
```

## 構文の説明

<b>database</b>	(任意) FSPF リンク ステート データベースを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>detail</b>	(任意) 詳細な FSPF 情報を表示します。
<b>domain domain-id</b>	(任意) データベースのドメインを指定します。有効な範囲は 0 ~ 255 です。
<b>interface</b>	(任意) FSPF インターフェイスを指定します。
<b>fc slot/port</b>	設定するファイバチャネル インターフェイスを指定します。
<b>san-port-channel port-channel</b>	ポート チャネル インターフェイスを指定します。有効な範囲は 1 ~ 256 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

パラメータを指定せずに、このコマンドを入力すると、データベース内のすべてのエントリが表示されます。

## 例

次に、FSPF インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf vsan 1 fc2/1
```

次に、FSPF データベース情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf database vsan 1
```

```
FSPF Link State Database for VSAN 1 Domain 0xc6(198)
LSR Type = 1
Advertising domain ID = 0xc6(198)
LSR Age = 1050
LSR Incarnation number = 0x800007c5
LSR Checksum = 0x35d2
Number of links = 0
  NbrDomainId      IfIndex  NbrIfIndex  Link Type      Cost
-----
switch#
```

次のコマンドは、指定された VSAN に対する FSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf vsan 1
FSPF routing for VSAN 1
FSPF routing administration status is enabled
FSPF routing operational status is UP
It is an intra-domain router
Autonomous region is 0
SPF hold time is 0 msec
MinLsArrival = 1000 msec , MinLsInterval = 2000 msec
Local Domain is 0xc6(198)
Number of LSRs = 1, Total Checksum = 0x000035d2

Protocol constants :
  LS_REFRESH_TIME = 30 minutes (1800 sec)
  MAX_AGE          = 60 minutes (3600 sec)

Statistics counters :
  Number of LSR that reached MaxAge = 0
  Number of SPF computations         = 0
  Number of Checksum Errors          = 0
  Number of Transmitted packets :   LSU 0 LSA 0 Hello 0 Retranmsitted LSU 0
  Number of received packets :     LSU 0 LSA 0 Hello 0 Error packets 0

switch#
```

次のコマンドは、すべてのインターフェイスの FSPF 情報を表示する例を示します。

```
switch# show fspf interface
FSPF interface vfc5 in VSAN 1
FSPF routing administrative state is active
Interface cost is 2100
Timer intervals configured, Hello 20 s, Dead 80 s, Retransmit 5 s
FSPF State is DOWN

switch#
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>fspf</b>	FSPF を設定します。

# show in-order-guarantee

順次配信機能の現在の設定ステータスを表示するには、**show in-order-guarantee** コマンドを使用します。

**show in-order-guarantee**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、順次配信機能の現在の設定状態を表示する例を示します。

```
switch# show in-order-guarantee
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>in-order-guarantee</b>	順次配信をイネーブルにします。

# show interface fcoe

インターフェイスの Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関する情報を表示するには、**show interface fcoe** コマンドを使用します。

**show interface** [*interface number*] **fcoe**

## 構文の説明

<i>interface</i>	(任意) インターフェイス、イーサネット、または EtherChannel を指定します。
<i>number</i>	インターフェイス番号を指定します。number には、次のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>イーサネット インターフェイスのスロット、およびスロット内のポート番号。スロット番号の範囲は 1 ~ 255、ポート番号の範囲は 1 ~ 255 です。</li> <li>EtherChannel 番号。指定できる範囲は 1 ~ 4096 です。</li> </ul>

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、イーサネット インターフェイスに対する FCoE 情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface fcoe
Ethernet1/1 is FCoE UP
Ethernet1/2 is FCoE UP
Ethernet1/3 is FCoE UP
Ethernet1/4 is FCoE UP
Ethernet1/5 is FCoE UP
Ethernet1/6 is FCoE UP
Ethernet1/7 is FCoE UP
Ethernet1/8 is FCoE UP
Ethernet1/9 is FCoE UP
Ethernet1/10 is FCoE UP
Ethernet1/11 is FCoE down
Ethernet1/12 is FCoE down
Ethernet1/13 is FCoE UP
Ethernet1/14 is FCoE UP
Ethernet1/15 is FCoE down
Ethernet1/16 is FCoE down
Ethernet1/17 is FCoE UP
Ethernet1/18 is FCoE down
Ethernet1/19 is FCoE UP
Ethernet1/20 is FCoE UP
Ethernet1/21 is FCoE UP
Ethernet1/22 is FCoE UP
Ethernet1/23 is FCoE UP
Ethernet1/24 is FCoE UP
```



```
Ethernet1/25 is FCoE UP
Ethernet1/26 is FCoE UP
Ethernet1/27 is FCoE UP
Ethernet1/28 is FCoE UP
Ethernet1/29 is FCoE UP
Ethernet1/30 is FCoE UP
Ethernet1/31 is FCoE UP
Ethernet1/32 is FCoE UP
Ethernet1/33 is FCoE UP
  vfc1 is Up
    FCID is 0x580016
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:45
    MAC addr is 00:00:00:13:05:01
    FCID is 0x580017
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:bf
    MAC addr is 00:00:00:13:05:01
  vfc2 is Up
    FCID is 0x580020
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:46
    MAC addr is 00:00:00:13:05:02
    FCID is 0x580033
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c0
    MAC addr is 00:00:00:13:05:02
  vfc4 is Up
    FCID is 0x58001e
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:48
    MAC addr is 00:00:00:13:05:04
    FCID is 0x580031
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c2
    MAC addr is 00:00:00:13:05:04
  vfc5 is Up
    FCID is 0x58001d
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:49
    MAC addr is 00:00:00:13:05:05
    FCID is 0x580030
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c3
    MAC addr is 00:00:00:13:05:05
  vfc6 is Up
    FCID is 0x58001c
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:0e:4a
    MAC addr is 00:00:00:13:05:06
    FCID is 0x58002f
    PWWN is 10:00:00:00:07:f8:21:c4
    MAC addr is 00:00:00:13:05:06
Ethernet1/34 is FCoE down
Ethernet1/35 is FCoE UP
<--Output truncated-->
switch#
```

次に、特定のイーサネット インターフェイスに対する FCoE 情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface ethernet 1/21 fcoe
Ethernet1/21 is FCoE UP
switch#
```

次に、特定の EtherChannel インターフェイスに対する FCoE 情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface port-channel 3 fcoe
port-channel3 is FCoE UP
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show fcoe	FCoE CFS パラメータのステータスを表示します。

# show interface san-port-channel

SAN ポート チャネル インターフェイスの設定情報を表示するには、**show interface san-port-channel** コマンドを使用します。

```
show interface san-port-channel port-num [brief | counters [brief] | trunk vsan [vsan-range]]
```

## 構文の説明

<b>port-num</b>	SAN ポート チャネル インターフェイス ID。有効な範囲は 1 ~ 256 です。
<b>brief</b>	(任意) SAN ポート チャネル インターフェイスに関する要約情報を表示します。
<b>counters</b>	(任意) SAN ポート チャネル インターフェイスのカウンタを表示します。
<b>trunk</b>	(任意) SAN ポート チャネル インターフェイスのトランク情報を表示します。
<b>vsan</b>	(任意) SAN ポート チャネル インターフェイスのトランクの VSAN 情報を表示します。
<b>vsan-range</b>	(任意) VSAN の範囲です。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、指定した SAN ポート チャネル インターフェイスの設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface san-port-channel 101
san-port-channel 101 is down (No operational members)
  Hardware is Fibre Channel
  Port WWN is 24:65:00:05:9b:74:a6:c0
  Admin port mode is NP, trunk mode is off
  snmp link state traps are enabled
  Port vsan is 1
  1 minute input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  1 minute output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
    0 frames input, 0 bytes
      0 discards, 0 errors
      0 CRC, 0 unknown class
      0 too long, 0 too short
    0 frames output, 0 bytes
      0 discards, 0 errors
      0 input OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
      0 output OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
  last clearing of "show interface" counters never
  No members

switch#
```

次に、指定した SAN ポート チャネル インターフェイスのカウンタの要約情報を表示する例を示します。

## ■ show interface san-port-channel

```
switch# show interface san-port-channel 101 counters brief
```

```
-----
Interface                Input (rate is 1 min avg)  Output (rate is 1 min avg)
-----
                          Rate      Total      Rate      Total
                          MB/s     Frames    MB/s     Frames
-----
san-port-channel 101    0         0          0         0
-----
```

```
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>interface san-port-channel</b>	SAN ポート チャネル インターフェイスを設定します。
<b>show interface</b>	指定のインターフェイスのインターフェイス設定を表示します。
<b>show running-config interface san-port-channel</b>	SAN ポート チャネルの実行コンフィギュレーション情報を表示します。

# show interface vfc

仮想ファイバ チャンネル インターフェイスの設定情報を表示するには、**show interface vfc** コマンドを使用します。

```
show interface vfc vfc-id [brief] [counters]
```

構文の説明	説明
<i>vfc-id</i>	仮想ファイバ チャンネル インターフェイス ID。有効な範囲は 1 ~ 8192 です。
<b>brief</b>	(任意) 仮想ファイバ チャンネル インターフェイスに関する要約情報を表示します。
<b>counters</b>	(任意) 仮想ファイバ チャンネル インターフェイスのカウンタを表示します。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、指定した仮想ファイバ チャンネル インターフェイスの設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface vfc 1
vfc1 is down (Administratively down)
  Bound MAC is 00:50:3e:8d:64:00
  Hardware is Virtual Fibre Channel
  Port WWN is 20:00:00:05:9b:23:40:7f
  Admin port mode is F, trunk mode is on
  snmp link state traps are enabled
  Port vsan is 1
  1 minute input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  1 minute output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
    0 frames input, 0 bytes
      0 discards, 0 errors
    0 frames output, 0 bytes
      0 discards, 0 errors
  last clearing of "show interface" counters never
```

switch#

次に、指定した仮想ファイバ チャンネル インターフェイスの要約情報を表示する例を示します。

```
switch# show interface vfc 5 brief
```

```
-----
Interface  Vsan   Admin  Admin  Status      SFP   Oper  Oper  Port
           Mode   Mode   Trunk  Mode        Mode  Speed Channel
           Mode                                     (Gbps)
-----
vfc5      1      E      on     down        --    --    --
switch#
```

次に、指定した仮想ファイバ チャネル インターフェイスのカウンタを表示する例を示します。

```
switch# show interface vfc 5 counters
vfc5
  5 minute input rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  5 minute output rate 0 bits/sec, 0 bytes/sec, 0 frames/sec
  0 frames input, 0 bytes
    0 discards, 0 errors, 0 CRC
    0 too long, 0 too short
  0 frames output, 0 bytes
    0 discards, 0 errors
  0 input OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
  0 output OLS, 0 LRR, 0 NOS, 0 loop inits
  0 link failures, 0 sync losses, 0 signal losses
  0 BB credit transitions from zero

switch#
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>interface vfc</b>	仮想ファイバ チャネル インターフェイスを設定します。

---

# show lldp

スイッチ上の Link Layer Discovery Protocol (LLDP; リンク層検出プロトコル) 設定に関する情報を表示するには、**show lldp** コマンドを使用します。

```
show lldp {interface {ethernet slot/port | mgmt intf-no} | neighbors [detail | interface] | timers | traffic [interface {ethernet slot/port | mgmt intf-no}]}
```

## 構文の説明

<b>interface</b>	インターフェイスの LLDP インターフェイス情報または LLDP ネイバー情報を表示します。
<b>ethernet slot/port</b>	イーサネット IEEE 802.3z インターフェイスの設定情報を表示します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。
<b>mgmt intf-no</b>	管理インターフェイスのコンフィギュレーション情報を表示します。管理インターフェイス番号は 0 です。
<b>neighbors</b>	LLDP ネイバーに関する情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) LLDP ネイバーに関する詳細情報を表示します。
<b>timers</b>	LLDP タイマーに関する情報を表示します。
<b>traffic</b>	スイッチで設定される LLDP カウンタを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、LLDP インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show lldp traffic interface ethernet 1/1
LLDP interface traffic statistics:

Total frames transmitted: 7490
Total entries aged: 0
Total frames received: 7458
Total frames received in error: 0
Total frames discarded: 0
Total unrecognized TLVs: 0
switch#
```

次に、LLDP 管理インターフェイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show lldp traffic interface mgmt 0
LLDP interface traffic statistics:

Total frames transmitted: 0
Total entries aged: 0
Total frames received: 0
Total frames received in error: 0
Total frames discarded: 0
Total unrecognized TLVs: 0
```

```
switch#
```

次に、スイッチ上で LLDP タイマーを表示する例を示します。

```
switch# show lldp timers
LLDP Timers:

    Holdtime in seconds: 120
    Reinit-time in seconds: 2
    Transmit interval in seconds: 30
switch#
```

次に、LLDP ネイバーの情報を表示する例を示します。

```
switch# show lldp neighbors
Capability codes:
  (R) Router, (B) Bridge, (T) Telephone, (C) DOCSIS Cable Device
  (W) WLAN Access Point, (P) Repeater, (S) Station, (O) Other
Local Intf  Chassis ID      Port ID      Hold-time  Capability
Eth1/1     000d.eca3.6080   Eth1/1      120       B
Eth1/2     000d.eca3.6080   Eth1/2      120       B
Eth1/3     000d.eca3.6080   Eth1/3      120       B
Eth1/4     000d.eca3.6080   Eth1/4      120       B
Eth1/7     000d.ecf2.0880   Eth1/7      120       B
Eth1/8     000d.ecf2.0880   Eth1/8      120       B
Eth1/9     000d.ecf2.0b40   Eth1/9      120       B
Eth1/10    000d.ecf2.0b40   Eth1/10     120       B
switch#
```

次に、指定されたインターフェイスの LLDP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show lldp interface ethernet 1/1
Interface Information:
  Enable (tx/rx/dcbx): Y/Y/Y   Port Mac address: 00:0d:ec:b2:30:c8

Peer's LLDP TLVs:
Type Length Value
----
001 007 04000dec a36080
002 007 05457468 312f31
003 002 0078
004 009 4e354b2d 506f7274 00
005 013 45756765 6e652d4e 354b2d32 00
006 010 4e354b2d 53776974 6368
007 004 00040004
008 012 05010ac1 8303021a 00000000
128 055 001b2102 020a0000 00000001 00000001 06060000 80000808 080a0000
      80008906 001b2108 04110000 80000001 00003232 00000000 000002
128 005 00014201 01
128 006 0080c201 0001
000 000
switch#
```

次に、LLDP トラフィックの情報を表示する例を示します。

```
switch# show lldp traffic
LLDP traffic statistics:

    Total frames transmitted: 89743
    Total entries aged: 0
    Total frames received: 59300
    Total frames received in error: 0
    Total frames discarded: 0
    Total unrecognized TLVs: 0
switch#
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
lldp	スイッチにグローバル LLDP オプションを設定します。
lldp (インターフェイス)	インターフェイスに LLDP 機能を設定します。

# show loadbalancing

特定のユニキャストフローのロード バランシング ステータスを表示するには、**show loadbalancing** コマンドを使用します。

```
show loadbalancing vsan vsan-id source-fcid dest-fcid [exchange-id]
```

## 構文の説明

<b>vsan vsan-id</b>	割り当てられた FCID に基づいてファブリック ログイン (FLOGI) データベース エントリを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。
<b>source-fcid</b>	指定されたソース FCID のロード バランシング ステータスを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。
<b>dest-fcid</b>	指定された宛先 FCID のロード バランシング ステータスを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。
<b>exchange-id</b>	(任意) 指定された交換のロード バランシング ステータスを表示します。フォーマットは 0xhhhhhh です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、VSAN 3 で指定されたソース、および宛先に対するロードバランシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show loadbalancing vsan 3 0x3345 0x2546
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>vsan</b>	VSAN 情報またはメンバーシップを設定します。

# show npv flogi-table

N Port Virtualization (NPV; N ポート仮想化) によるファブリック ログイン (FLOGI) セッションに関する情報を表示するには、**show npv flogi-table** コマンドを使用します。

## show npv flogi-table

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show npv flogi-table** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

### 例

次に、NPV FLOGI セッションに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show npv flogi-table
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show npv status</b>	NPV の現在のステータスを表示します。

# show npv status

N ポート バーチャライゼーション (NPV) の現行のステータスを表示するには、**show npv status** コマンドを使用します。

## show npv status

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show npv status** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

### 例

次に、NPV の現在のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show npv status
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show npv flogi-table</b>	NPV FLOGI セッションに関する情報を表示します。

# show npv traffic-map

N ポート バーチャライゼーション (NPV) トラフィック マップを表示するには、**show npv traffic-map** コマンドを使用します。

## show npv traffic-map

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show npv traffic-map** コマンドを使用できるのは、スイッチが NPV モードの場合だけです。

### 例

次に、NPV の現在のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show npv traffic-map
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show npv flogi-table</b>	NPV FLOGI セッションに関する情報を表示します。

# show port index-allocation

ポート インデックス割り当て情報を表示するには、**show port index-allocation** コマンドを使用します。

**show port index-allocation [startup]**

構文の説明	<b>startup</b>	(任意) 始動時のポート インデックス割り当て情報を表示します。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド モード	EXEC モード	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** ポート インデックスの最大数が 256 のスイッチでは、この制限を超えるモジュールの電源は投入されません。Cisco Nexus 5500 シリーズ スイッチでは、始動時のモジュール インデックス配信はありません。

**例** 次に、ポート インデックスの割り当て情報を表示する例を示します。  
switch# **show port index-allocation**

# show rlir

Registered Link Incident Report (RLIR) 情報を表示するには、**show rlir** コマンドを使用します。

```
show rlir {erl [vsan vsan-id] | history | recent {interface fc slot/port | portnumber port} |
statistics [vsan vsan-id]}
```

## 構文の説明

<b>erl</b>	Established Registration List を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>history</b>	リンク インシデント履歴を表示します。
<b>recent</b>	最近のリンク インシデントを表示します。
<b>interface fc slot/port</b>	ファイバチャネルインターフェイスを指定します。
<b>portnumber port</b>	指定ポート番号の RLIR 情報を表示します。
<b>statistics</b>	すべての VSAN または指定 VSAN の RLIR 統計情報を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、VSAN 1 の RLIR 情報を表示する例を示します。

```
switch# show rlir erl vsan 1
```

次に、RLIR 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show rlir statistics vsan 1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>rlir preferred-cond fcid</b>	RLIR フレームを受信する優先ホストを指定します。

# show rscn

Registered State Change Notification (RSCN) 情報を表示するには、**show rscn** コマンドを使用します。

```
show rscn {event-tov vsan vsan-id | pending vsan vsan-id | pending-diff vsan vsan-id | scr-table
[vsan vsan-id] | session status vsan vsan-id | statistics [vsan vsan-id]}
```

## 構文の説明

<b>event-tov</b>	イベント タイムアウト値を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	VSAN ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>pending</b>	未決定コンフィギュレーションを表示します。
<b>pending-diff</b>	アクティブ コンフィギュレーションと未決定コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>scr-table</b>	State Change Registration (SCR) テーブルを表示します。
<b>session status</b>	RSCN セッション ステータスを表示します。
<b>statistics</b>	RSCN 統計情報を表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

SCR テーブルを設定できません。このテーブルは、1 つまたは複数の N ポートが RSCN 情報の登録のために SCR フレームを送信した場合にだけデータが入力されます。**show rscn scr-table** コマンドがエントリを返さない場合、RSCN 情報を受信できる N ポートはありません。

## 例

次に、RSCN 情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn scr-table vsan 1
```

次に、RSCN 統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show rscn statistics vsan 1
```

次に、VSAN 1 に設定された RSCN イベント タイムアウト値を表示する例を示します。

```
switch# show rscn event-tov vsan 1
```

次に、VSAN 1 でアクティブになっている RSCN 設定と保留中の RSCN 設定の間における違いを表示する例を示します。

```
switch# show rscn pending-diff vsan 1
```



## | 関連コマンド

コマンド	説明
rscn	Registered State Change Notification (RSCN) を設定します。

# show running-config fcoe\_mgr

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関する実行コンフィギュレーション情報を表示するには、**show running-config fcoe\_mgr** コマンドを使用します。

**show running-config fcoe\_mgr [all]**

## 構文の説明

**all** (任意) デフォルト設定も含め、すべての動作情報を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、FCoE 実行コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config fcoe_mgr

!Command: show running-config fcoe_mgr
!Time: Fri Jan  2 06:33:11 2009

version 5.0(3)N2(1)

interface vfc1
  bind mac-address 00:50:3e:8d:64:00
  fcoe fka-adv-period 60
  fcoe veloopback
```

```
switch#
```

次に、実行コンフィギュレーションの詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config fcoe_mgr all

!Command: show running-config fcoe_mgr all
!Time: Fri Jan  2 05:36:52 2009

version 5.0(3)N2(1)
logging level fcoe_mgr 3

interface vfc1
  bind mac-address 00:50:3e:8d:64:00
  fcoe fka-adv-period 60
  fcoe veloopback
```

```
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーション情報をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルにコピーします。
<b>show tech-support fcoe</b>	FCoE のトラブルシューティング情報を表示します。

# show running-config interface san-port-channel

SAN ポート チャネル インターフェイスの実行システム コンフィギュレーション情報を表示するには、**show running-config interface san-port-channel** コマンドを使用します。

**show running-config interface san-port-channel** *port-num* [**all** | **expand-port-profile**]

## 構文の説明

<b>all</b>	(任意) 設定された情報とデフォルト情報を表示します。
<b>expand-port-profile</b>	(任意) ポート プロファイルのコンフィギュレーション情報を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、指定した SAN ポート チャネル インターフェイスの実行コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config interface san-port-channel 101

!Command: show running-config interface san-port-channel 101
!Time: Mon Apr 11 09:14:20 2005

version 5.1(3)N1(1)

interface san-port-channel 101
  channel mode active
  switchport mode NP

switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>interface san-port-channel</b>	SAN ポート チャネル インターフェイスを設定します。
<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーション情報をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルにコピーします。

# show san-port-channel

既存の SAN ポート チャンネル設定に関する情報を表示するには、**show san-port-channel** コマンドを使用します。

```
show san-port-channel {compatibility-parameters | consistency [detail] | database [interface
san-port-channel port] | summary | usage}
```

## 構文の説明

<b>compatibility-parameters</b>	互換性パラメータを表示します。
<b>consistency</b>	すべてのモジュールのデータベース整合性情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細なデータベース整合性情報を表示します。
<b>database</b>	SAN ポート チャンネル データベースの情報を表示します。
<b>interface san-port-channel port</b>	(任意) SAN ポート チャンネル番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 256 です。
<b>summary</b>	SAN ポート チャンネルの概要を表示します。
<b>usage</b>	SAN ポート チャンネル番号の使用状況を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、SAN ポート チャンネルの概要を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel summary
```

次に、SAN ポート チャンネル互換性パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel compatibility-parameters
```

次に、SAN ポート チャンネル データベースを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel database
```

次に、SAN ポート チャンネル データベースの整合性ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel consistency
```

次に、SAN ポート チャンネル データベースの整合性ステータスに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel consistency detail
```

次に、使用および未使用の SAN ポート チャンネル番号の詳細を表示する例を示します。

```
switch# show san-port-channel usage
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>san-port-channel persistent</b>	自動作成された SAN ポート チャンネルを永続的な SAN ポート チャンネルに変換します。

# show scsi-target

既存の SCSI ターゲット コンフィギュレーションについての情報を表示するには、**show scsi-target** コマンドを使用します。

```
show scsi-target {auto-poll | custom-list | devices [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | disk [vsan vsan-id]
[fcid fcid-id] | lun [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] [os [aix | all | hpux | linux | solaris | windows]
| pwwn | status | tape [vsan vsan-id] [fcid fcid-id] | vsan vsan-id}
```

## 構文の説明

<b>auto-poll</b>	SCSI ターゲット自動ポーリング情報を表示します。
<b>custom-list</b>	カスタマイズされた検出ターゲットを表示します。
<b>devices</b>	検出された SCSI ターゲット デバイスの情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) ID を指定します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>fcid fcid-id</b>	(任意) 表示する SCSI ターゲットの FCID を指定します。
<b>disk</b>	検出されたディスク情報を表示します。
<b>lun</b>	検出された SCSI ターゲットの Logical Unit Number (LUN; 論理ユニット番号) を表示します。
<b>os</b>	(任意) 指定のオペレーティング システムを検出します。
<b>aix</b>	(任意) AIX オペレーティング システムを指定します。
<b>all</b>	(任意) すべてのオペレーティング システムを指定します。
<b>hpux</b>	(任意) HP-UX オペレーティング システムを指定します。
<b>linux</b>	(任意) Linux オペレーティング システムを指定します。
<b>solaris</b>	(任意) Solaris オペレーティング システムを指定します。
<b>windows</b>	(任意) Windows オペレーティング システムを指定します。
<b>pwwn</b>	各オペレーティング システムの検出された pWWN 情報を表示します。
<b>status</b>	SCSI ターゲット ディスカバリのステータスを表示します。
<b>tape</b>	検出されたテープ情報を表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

オンライン SCSI ターゲットの自動検出を確認するには、**show scsi-target auto-poll** コマンドを使用します。

## 例

次に、SCSI 検出のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target status
```

次に、カスタマイズされた検出ターゲットを表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target custom-list
```

次に、検出されたディスクの情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target disk
```

次に、すべてのオペレーティングシステムについて検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os all
```

次に、Solaris オペレーティングシステムについて検出された LUN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target lun os solaris
```

次に、自動ポーリングの情報を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target auto-poll
```

次に、各オペレーティングシステム（Windows、AIX、Solaris、Linux、または HPUX）に割り当てられたポート WWN を表示する例を示します。

```
switch# show scsi-target pwn
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
<code>scsi-target</code>	SCSI ターゲット検出を設定します。



# show startup-config fcoe\_mgr

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関するスタートアップ コンフィギュレーション情報を表示するには、**show startup-config fcoe\_mgr** コマンドを使用します。

## show startup-config fcoe\_mgr

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、FCoE スタートアップ コンフィギュレーション情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config fcoe_mgr

!Command: show startup-config fcoe_mgr
!Time: Fri Jan  2 05:41:38 2009
!Startup config saved at: Thu Jan  1 00:04:46 2009

version 5.0(3)N2(1)
logging level fcoe_mgr 3

interface vfc1
  bind mac-address 00:50:3e:8d:64:00
  fcoe fka-adv-period 60
  fcoe veloopback

switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーション情報をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルにコピーします。
<b>show tech-support fcoe</b>	FCoE のトラブルシューティング情報を表示します。

# show tech-support fcoe

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) に関するトラブルシューティング情報を表示するには、**show tech-support fcoe** コマンドを使用します。

## show tech-support fcoe

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N2(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、FCoE インターフェイスに関するシスコ テクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support fcoe
***** FCOE MGR tech-support start *****
`show platform software fcoe_mgr event-history errors`
1) Event:E_DEBUG, length:71, at 269945 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_demux(535): (Warning) unexpected mts msg (opcode - 7972)

2) Event:E_DEBUG, length:64, at 269136 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5428): fka-adv-period: 60

3) Event:E_DEBUG, length:64, at 269107 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5427): fcf-priority   : 128

4) Event:E_DEBUG, length:68, at 269076 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5426): fcmap         : 0xefc00

5) Event:E_DEBUG, length:100, at 269036 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5425): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data: Exiting, ret_val = 0

6) Event:E_DEBUG, length:88, at 268788 usecs after Fri Jan  2 06:35:17 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5400): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data: Entering

7) Event:E_DEBUG, length:63, at 567997 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5428): fka-adv-period: 8

8) Event:E_DEBUG, length:64, at 567965 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
   [102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5427): fcf-priority   : 128

9) Event:E_DEBUG, length:68, at 567932 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
```

```

[102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5426): fcmapi          : 0xefc00

10) Event:E_DEBUG, length:100, at 567891 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
[102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5425): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_da
ta: Exiting, ret_val = 0

11) Event:E_DEBUG, length:88, at 567732 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
[102] fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_data(5400): fcoe_mgr_pss_add_global_cfg_da
ta: Entering

12) Event:E_DEBUG, length:88, at 567667 usecs after Fri Jan  2 06:30:27 2009
[102] fcoe_mgr_cli_set_ve_loopback(1562): Enabling VE loopback (will disable
VFID check)

13) Event:E_DEBUG, length:129, at 177534 usecs after Fri Jan  2 06:25:17 2009
[102] fcoe_mgr_mts_vfc_bind_check_resp_handler(2488): Bind Check Resp: if_in
dex: 0x0, status: (null): success (err_id 0x00000000)

14) Event:E_DEBUG, length:71, at 176687 usecs after Fri Jan  2 06:25:17 2009
[102] fcoe_mgr_demux(535): (Warning) unexpected mts msg (opcode - 7972)

15) Event:E_DEBUG, length:71, at 392038 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
[102] fcoe_mgr_mac_pool_bmp_to_tlv(143): mac_pool->mac_usage_bmp = NULL

16) Event:E_DEBUG, length:63, at 89603 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
[102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/31

17) Event:E_DEBUG, length:63, at 89509 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
[102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/29

18) Event:E_DEBUG, length:63, at 89405 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
[102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/18

19) Event:E_DEBUG, length:63, at 89310 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
[102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/17

20) Event:E_DEBUG, length:63, at 89212 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
[102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/15

21) Event:E_DEBUG, length:62, at 89101 usecs after Fri Jan  2 06:16:00 2009
[102] fcoe_mgr_get_eth_fcoe_info(58): sending lls down Eth1/8

<--Output truncated-->
switch#

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config fcoe_mgr</b>	FCoE に関する実行コンフィギュレーション情報を表示します。

# show topology

接続されている SAN スイッチのトポロジ情報を表示するには、**show topology** コマンドを使用します。

**show topology [vsan vsan-id]**

構文の説明	<b>vsan vsan-id</b> (任意) VSAN の情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
-------	---

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

**例** 次に、トポロジの情報を表示する例を示します。

```
switch# show topology
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>cfs ipv4 mcast-address</b>	IPv4 を介した CFS 配信の IPv4 マルチキャストアドレスを設定します。
	<b>cfs ipv6 distribute</b>	CFS を使用して、アプリケーションの IPv6 を介した CFS 配信をイネーブルにします。
	<b>cfs ipv6 mcast-address</b>	IPv6 を介した CFS 配信の IPv6 マルチキャストアドレスを設定します。

# show trunk protocol

トランク プロトコルのステータスを表示するには、**show trunk protocol** コマンドを使用します。

**show trunk protocol**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、トランク プロトコルのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show trunk protocol
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>trunk protocol enable</b>	ファイバ チャネル インターフェイスのトランキング プロトコルを設定します。

# show vlan fcoe

Fibre Channel over Ethernet (FCoE) VLAN と Virtual SAN (VSAN; 仮想 SAN) のマッピングに関する情報を表示するには、**show vlan fcoe** コマンドを使用します。

## show vlan fcoe

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンドデフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

### 例

次に、スイッチでの FCoE VLAN と VSAN のマッピングを表示する例を示します。

```
switch# show vlan fcoe
VLAN      VSAN      Status
-----
331       331       Operational
332       332       Operational
333       333       Operational
334       334       Operational
335       335       Non-operational
336       336       Operational
337       337       Operational
switch#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>fcoe vsan</b>	FCoE VLAN を VSAN にマッピングします。

# show vsan

設定された仮想 SAN (VSAN) の情報を表示するには、**show vsan** コマンドを使用します。

```
show vsan [vsan-id [membership] | membership [interface {fc slot/port | san-port-channel port | vfc vfc-id}] | usage]
```

## 構文の説明

<i>vsan-id</i>	(任意) 指定された VSAN ID の情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>membership</b>	(任意) メンバーシップ情報を表示します。
<b>interface</b>	(任意) インターフェイス タイプを指定します。
<i>fc slot/port</i>	ファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<b>san-port-channel port</b>	ポート チャネル番号で指定された SAN ポート チャネル インターフェイスを指定します。
<i>vfc vfc-id</i>	バーチャル ファイバ チャネル インターフェイスを指定します。
<b>usage</b>	(任意) システムでの VSAN の使用状況を表示します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show vsan membership interface** コマンドを入力すると、この VSAN に設定されているインターフェイスに関するインターフェイス情報が表示されます。

インターフェイスの範囲は昇順で、オーバーラップなしです。ハイフンを使用して範囲を指定することも、コンマを使用して複数のインターフェイスを指定することもできます。

- ファイバ チャネル インターフェイスのインターフェイス範囲は、次の形式で指定します。

*fcslot/port* - *port* , *fcslot/port* , *fcslot/port* です。

例: **show int fc2/1 - 3 , fc2/4 , fc3/2**

## 例

次に、設定されている VSAN の情報を表示する例を示します。

```
switch# show vsan 1
vsan 1 information
  name:VSAN0001 state:active
  interoperability mode:default
  loadbalancing:src-id/dst-id/oxid
  operational state:up

switch#
```

次に、すべての VSAN に対するメンバーシップ情報を表示する例を示します。

```
switch # show vsan membership
vsan 1 interfaces:

vsan 331 interfaces:
    fc2/3          fc2/4          san-port-channel 14 vfc1
    vfc2           vfc3           vfc4            vfc5
    vfc6           vfc7           vfc8            vfc9
    vfc10          vfc11          vfc12           vfc13
    vfc14          vfc15          vfc16           vfc17
    vfc18          vfc19          vfc20

vsan 332 interfaces:
    fc2/5          fc2/6          fc2/7           fc2/8
    san-port-channel 8 san-port-channel 9 vfc21          vfc22
    vfc23          vfc24          vfc25           vfc26
    vfc27          vfc28          vfc29           vfc30
    vfc31          vfc32          vfc33           vfc34
    vfc35          vfc36          vfc37           vfc38
    vfc39          vfc40

vsan 333 interfaces:
    fc2/1          fc2/2          san-port-channel 13

vsan 334 interfaces:

vsan 336 interfaces:

vsan 337 interfaces:

vsan 4079(evfp_isolated_vsan) interfaces:

vsan 4094(isolated_vsan) interfaces:

switch#
```

次に、指定されたインターフェイスのメンバーシップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show vsan membership interface fc2/1
fc2/1
    vsan:333
    allowed list:1-4078,4080-4093
switch#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>vsan</b>	VSAN を設定します。



# show wwn

WWN コンフィギュレーションのステータスを表示するには、**show wwn** コマンドを使用します。

```
show wwn {status [block-id number] | switch | vsan-wwn}
```

## 構文の説明

<b>status</b>	WWN の使用状況とアラーム ステータスの要約を表示します。
<b>block-id number</b>	(任意) ブロック ID に対する WWN の使用状況とアラーム ステータスを表示します。有効な範囲は 34 ~ 1793 です。
<b>switch</b>	スイッチの WWN を表示します。
<b>vsan-wwn</b>	すべてのユーザ設定 VSAN WWN を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、スイッチの WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn switch
```

次に、ユーザ設定の VSAN WWN を表示する例を示します。

```
switch# show wwn vsan-wwn
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>wwn vsan</b>	インターオペラビリティ モード 4 がイネーブルになっている一時停止状態の VSAN に WWN を設定します。

# show zone

ゾーン情報を表示するには、**show zone** コマンドを使用します。

```
show zone [active [vsan vsan-id] | analysis {active vsan vsan-id | vsan vsan-id | zoneset
zoneset-name} | ess [vsan vsan-id] | member {fcalias alias-name | fcid fc-id [active | lun lun-id
| vsan vsan-id] | pwwn wwn [active | lun lun-id | vsan vsan-id]} | name string [active]
[pending] [vsan vsan-id] | pending [active] [vsan vsan-id] | pending-diff [vsan vsan-id] |
policy [pending] [vsan vsan-id] | statistics [vsan vsan-id] | status [vsan vsan-id]]
```

## 構文の説明

<b>active</b>	(任意) アクティブ ゾーンセットに属するゾーンを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) 指定 VSAN ID に属するゾーンを表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>analysis</b>	(任意) ゾーンデータベースの分析を表示します。
<b>active</b>	アクティブ ゾーンデータベースの分析を表示します。
<b>vsan</b>	指定された VSAN のゾーンデータベースの分析を表示します。
<b>zoneset zoneset-name</b>	指定されたゾーンセットの分析を表示します。
<b>ess</b>	(任意) Exchange Switch Support (ESS) の情報を表示します。
<b>member</b>	(任意) 指定したメンバーがその一部であるすべてのゾーンを表示します。
<b>fcalias alias-name</b>	特定の fcalias のメンバー情報を表示します。
<b>fc-id fc-id</b>	特定のファイバチャネル ID のメンバー情報を表示します。
<b>lun lun-id</b>	論理ユニット ID を表示します。
<b>pwwn wwn</b>	特定の pWWN のデバイス名情報を表示します。フォーマットは、 <i>hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh:hh</i> で、 <i>h</i> は 16 進数です。
<b>name string</b>	指定したゾーンのメンバーを表示します。
<b>pending</b>	現行セッションの指定ゾーンのメンバーを表示します。
<b>pending-diff</b>	ゾーンデータベースへの未決定変更を表示します。
<b>statistics</b>	ゾーン サーバ統計を表示します。
<b>status</b>	ゾーン サーバの現在のステータスを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、設定されているゾーン情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone
```

次に、特定の VSAN のゾーン情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone vsan 1
```

次に、特定のゾーンのメンバを表示する例を示します。

```
switch# show zone name Zone1
```

次に、FCID を使用してメンバが属するすべてのゾーンを表示する例を示します。

```
switch# show zone member pwnn 21:00:00:20:37:9c:48:e5
```

次に、他のスイッチと交換される制御フレームの数を表示する例を示します。

```
switch# show zone statistics
```

次に、設定されたゾーンのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show zone status
```

次に、**zoneset distribute vsan** コマンドのステータスをチェックし、特定の VSAN、またはアクティブな全 VSAN のデフォルトのゾーン属性を表示する例を示します。

```
switch# show zone status vsan 1
VSAN:1 default-zone:deny distribute:active only Interop:default
      mode:basic merge-control:allow session:none
      hard-zoning:enabled
Default zone:
      qos:low broadcast:disabled ronly:disabled
Full Zoning Database :
      Zonesets:0 Zones:0 Aliases:0
Active Zoning Database :
      Database Not Available
Status:
```

表 3 に、**show zone status vsan** で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 3 show zone status のフィールドの説明

フィールド	説明
VSAN:	表示される VSAN の番号
default-zone:	デフォルトのゾーン ポリシー (許可または拒否のいずれか)
Default zone:	指定された VSAN の属性を表示するフィールド。属性には、Quality of Service (QoS) レベル、ブロードキャスト ゾーン分割のイネーブル/ディセーブル、および読み取り専用のゾーン分割のイネーブル/ディセーブルが含まれます。
distribute:	フル ゾーン セット (full) またはアクティブ ゾーン セット (active only) の配信
Interop:	インターオペラビリティ モード。100 = デフォルト、1 = 標準、2 および 3 = 他社ベンダー
mode:	ゾーン分割モード (基本モード、または拡張モードのいずれか)
merge control:	マージ ポリシー (許可、または制限のいずれか)
Hard zoning is enabled	ハードウェア リソース (TCAM) が満杯になった場合、ハード ゾーン分割は自動的にディセーブルになります。
Full Zoning Database:	ゾーン データベースの値
Active Zoning Database:	アクティブ ゾーン データベースの値
Status:	最終ゾーン配信のステータス

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>zone</code>	ゾーン情報を設定します。

# show zone analysis

ゾーン分割データベースについての詳細な分析および統計情報を表示するには、**show zone analysis** コマンドを使用します。

```
show zone analysis {active vsan vsan-id | vsan vsan-id | zoneset name vsan vsan-id}
```

## 構文の説明

<b>active</b>	アクティブゾーンセットの分析情報を表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	指定 VSAN ID の分析情報を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>zoneset name</b>	指定ゾーンセットのゾーンセット分析情報を表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、アクティブゾーン分割データベースの詳細な統計情報と分析を表示する例を示します。

```
switch# show zone analysis active vsan 1
```

次に、フルゾーン分割データベースの詳細な統計情報と分析を表示する例を示します。

```
switch# sh zone analysis vsan 1
Zoning database analysis vsan 1
  Full zoning database
    Last updated at: 14:36:56 UTC Oct 04 2005
    Last updated by: Local [CLI / SNMP / GS / CIM / INTERNAL] or
                    Merge [interface] or
                    Remote [Domain, IP-Address]
                    [Switch name]

    Num zonesets: 1
    Num zones: 1
    Num aliases: 0
    Num attribute groups: 0
    Formatted database size: < 1 Kb / 2000 kb ( < 1% usage)

Unassigned zones:
  zone name z1 vsan 1
```

フルゾーン分割データベースに対する **show zone analysis** コマンドの出力に表示される各フィールドについて、表 4 に説明を示します。

表 4 フルゾーン分割データベースに対する **show zone analysis** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Last updated at	フルゾーン分割データベースが最後に更新された時刻のタイムスタンプを表示します。
Last Updated by	フルゾーン分割データベースを最後に変更したエージェントを表示します。エージェントには次の 3 種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Local</b> : 次のいずれかのアプリケーションによる設定変更を通じて、フルデータベースが最後にローカルで変更されたことを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– <b>CLI</b> : フルゾーン分割データベースがユーザによってコマンドラインインターフェイスから変更されました。</li> <li>– <b>SNMP</b> : フルゾーン分割データベースがユーザによって <b>Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル)</b> を通じて変更されました。</li> <li>– <b>GS</b> : フルゾーン分割データベースが <b>Generic Services (GS) クライアント</b> から変更されました。</li> <li>– <b>CIM</b> : フルゾーン分割データベースがアプリケーションによって <b>Common Information Model (CIM)</b> を使用して変更されました。</li> <li>– <b>INTERNAL</b> : フルゾーン分割データベースが、<b>Inter-VSAN Routing (IVR)</b> または <b>IP ストレージ サービス マネージャ</b> から内部のアクティベーションによって変更されました。</li> </ul> </li> <li>• <b>Merge</b> : フルデータベースが結合プロトコルによって最後に変更されたことを示します。この場合、結合が発生したインターフェイスも表示されます。</li> <li>• <b>Remote</b> : フルゾーンセットの配信が可能である場合、フルデータベースが、リモートスイッチから開始された変更プロトコルによって最後に変更されたことを示します。変更を開始したスイッチのドメイン、IP アドレス、およびスイッチ名も表示されます。</li> </ul> <p>(注) スイッチ名が設定されている場合にだけ、スイッチ名は次の行に、ドメインと並んで表示されます。デフォルトのスイッチ名 <i>switch</i> および <i>ip-address</i> は表示されません。</p>
Num zonesets	データベース中の合計ゾーンセット数を表示します。
Num zones	まだ割り当てられていないゾーンを含め、データベース中の合計ゾーン数を表示します。
Num aliases	まだ割り当てられていないファイバチャネルエイリアスを含め、データベース中の合計エイリアス数を表示します。
Num attribute groups	データベースにある属性グループの合計数を表示します。このフィールドは、拡張ゾーン分割が使用されているときにだけ適用されます。

表 4 フル ゾーン分割データベースに対する show zone analysis コマンドのフィールドの説明 (続き)

フィールド	説明
Formatted database size	<p>フォーマット時にワイヤ送信されたフル データベースの合計サイズを表示します。</p> <p>フォーマット済みのデータベース サイズが、次の例のようにキロバイト単位で &lt; X KB / Y KB の形式で表示されます。</p> <p>Formatted database size: &lt; 1 KB/2000 KB</p> <p>この例では、フォーマット化されたデータベース サイズは最大サイズ 2000 KB の内の 1 KB 未満です。</p>
Unassigned zones	<p>VSAN 内でまだ割り当てられていないゾーンをすべて表示します。ゾーン名だけが表示されます。ゾーンのメンバーに関する詳細はこのセクションでは表示されません。</p>

次に、ゾーンセットの分析情報を表示する例を示します。

```
switch# show zone analysis zoneset zsl vsan 1
```

#### 関連コマンド

コマンド	説明
zone compact database	VSAN 内のゾーン データベースを圧縮します。

# show zoneset

設定されているゾーンセットを表示するには、**show zoneset** コマンドを使用します。

```
show zoneset [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | name
zoneset-name [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | vsan vsan-id]
| pending [active [vsan vsan-id] | brief [active [vsan vsan-id] | vsan vsan-id] | vsan vsan-id] |
vsan vsan-id
```

## 構文の説明

<b>active</b>	(任意) アクティブゾーンセットだけを表示します。
<b>vsan vsan-id</b>	(任意) VSAN を表示します。有効な範囲は 1 ~ 4093 です。
<b>brief</b>	(任意) 概略リスト内のゾーンセットメンバーを表示します。
<b>name zoneset-name</b>	(任意) 指定ゾーンセットのメンバーを表示します。
<b>pending</b>	(任意) セッション内のゾーンセットメンバーを表示します。

## コマンドデフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、設定されているゾーンセットの情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 1
```

次に、特定の VSAN について設定されたゾーンセットの情報を表示する例を示します。

```
switch# show zoneset vsan 2-3
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>zoneset</b> (グローバル コ ンフィギュレーション モード)	各ゾーンを 1 つのゾーンセットにグループ化します。
<b>zoneset</b> (EXEC モー ド)	ゾーンセットデータベースをマージします。